

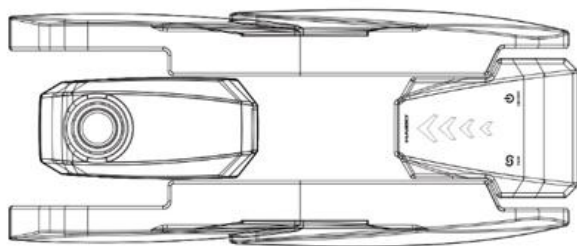
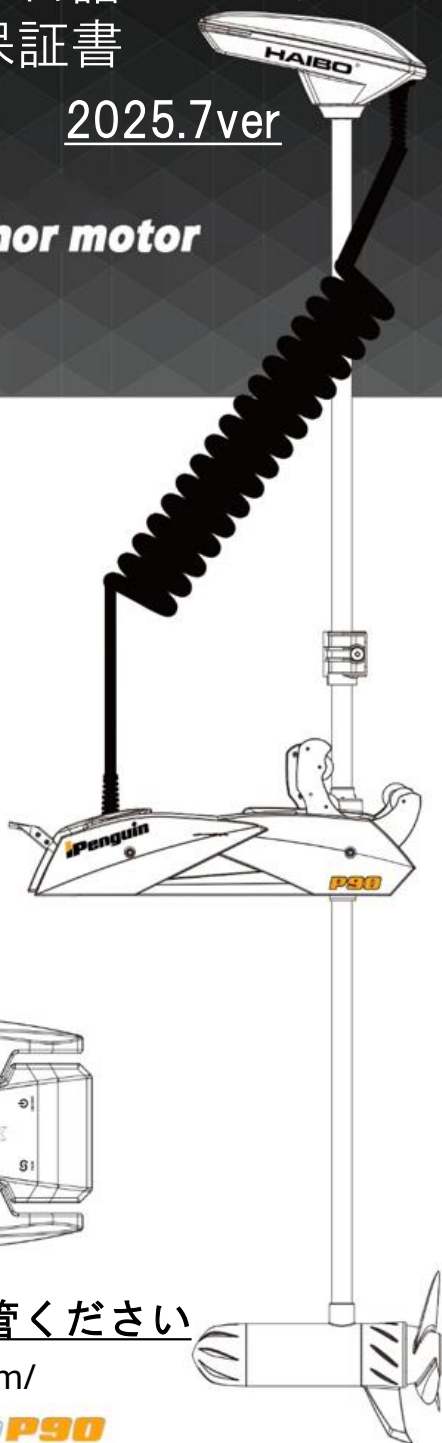


簡易本日語マニュアル & 保証書

2025.7ver

Haibo intelligent anchor motor

P Series user manual



Bee
INFLATABLE

大切に保管ください

<https://beeboat2003.com/>

Bee boat 公式HP

iPenguin P90

目次

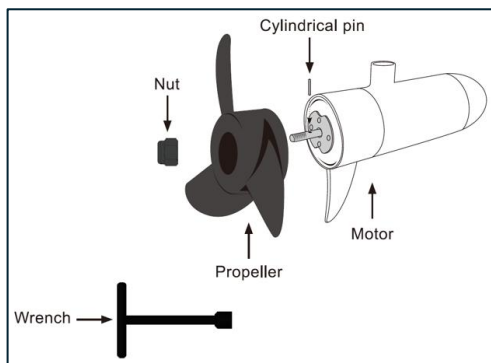
I. トローリングモーター使用前手順	2
II. トローリングモーター収納手順	4
III. リモコン操作方法	5
IV. リモコン画面解説	6
V. フットペダルコントローラー	7
VI-1. 初回電源スイッチON時の確認事項と作業手順 (P60/P65の場合)	7
VI-2. 初回電源スイッチON時の確認事項と作業手順 (P60/P65以外の場合)	9
VII. 各モード解説	11
1. マニュアルモード	11
2. アンカーモード	12
3. パイロットモード	14
①ヘディングモード	
②コースモード	
③クルーズコントロール	
4. トラックレコーディング	16
5. ナビゲートモード	17
VIII. メンテナンス	21
IX. トラブルシューティング	22
X. リモコンのライト設定等	23
保証書	25

※本説明書はメーカー発行の英語版マニュアルの一部を翻訳したものとなります。
正確な内容を把握・確認する場合はメーカー発行マニュアルをご参照ください。

I. トローリングモーター使用前手順

プロペラの取り付け

1. 円筒ピンをアーマチュアシャフトの穴に取り付けます。
2. プロペラをアーマチュアシャフトに取り付け、円筒形のピンを位置決め溝に挿入し、ナットをねじ込みます。
3. トルクスレンチを使用してナットを締めます。



注意: 円筒形のピンがプロペラの溝にしっかりと固定され、ナットが締められていることを確認してください。

使用前の準備

- a. バッテリーに十分な電力があることを確認します。
- b. プロペラが正しくしっかりと取り付けられていることを確認します。
- c. ベースがしっかりと固定されており、緩んだり傾いたりしていないことを確認します。
- d. バッテリーを接続する前に、電源コードの接触不良や損傷がないことを確認してください。

【注意】 プロペラが水中にあるときのみモーターを始動できます。
=エレキ本体が立っているときにモーターは始動できます。

重要 使用前に必ずお読みください。

※下記の説明に従ってトローリングモーターを展開しないと、ユニットが損傷し、保証が無効になり、ご自身や他の人が怪我をする可能性があります。

注意 - HAIBO モーターは、リリースレバーを押すだけでクレードルから外れるように設計されていません。

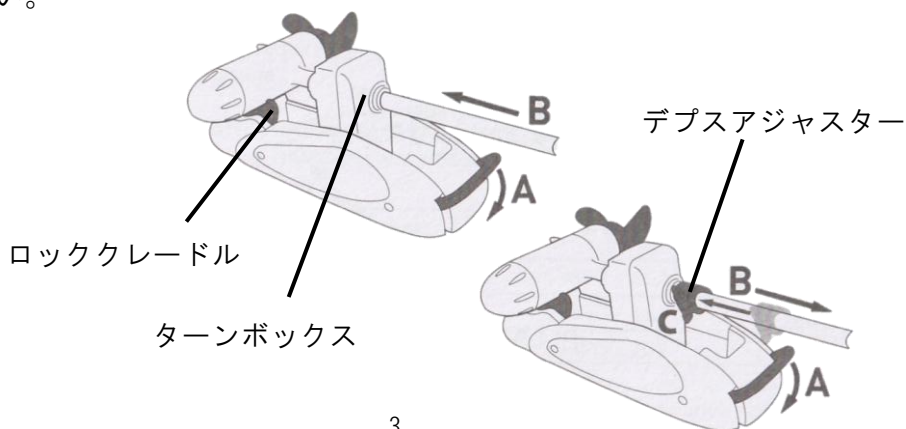
以下の操作手順に従ってモーター部分を水中へ投入してください。

1. デプスアジャスターのつまみを緩めてスライドさせ、モーター部位が適切な深さとなる位置でつまみを締めます。
2. リリースレバー (A) を押してロッククレードルを解放し、同時にヘッド部分を持ちながらシャフト (B) を前方にスライドさせてターンボックスを通し、デプスアジャスターがターンボックスの上部接触するまでゆっくりと水中に下ろします。

※挟まれる危険があります。

デプスアジャスターに指を近づけないでください。

3. リリースレバー (A) が上位置にあり、ターンボックスがロックされていることを確認します。
4. プロペラが常に完全に水没するように、デプスアジャスターの位置を調整します。その際に指を挟まれる危険があるので注意してください。



Ⅱ. トローリングモーター収納手順

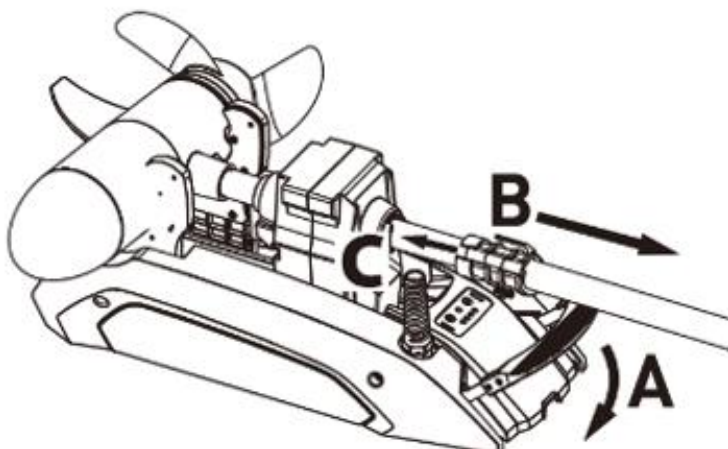
重要 使用前に必ずお読みください。

※下記の説明に従ってトローリングモーターを展開しないと、ユニットが損傷し、保証が無効になり、ご自身や他の人が怪我をする可能性があります。

1. リリースレバー(A) を押し下げたまま、同時にシャフト (B) をターンボックスを通して手前にスライドさせます。
リリースレバー (A) を放し、モーター部位がロッククレードルに戻るまでスライドを続けます。
クレードルが収納位置にロックされ、リリースレバーが上がるとカチッと音がします。
2. 航行中に誤って展開しないように、デプスアジャスター(C) をターンボックスまでスライドさせて締めます。
3. 水上または道路で高速移動する前に、モーター部位が適切に収納され、固定されていることを確認してください。

※HAIBO は、不適切な展開または収納によって生じた傷害または損傷については一切責任を負いません。

損傷を避けるため、ボートを運転または移動する前に、モーターが適切に収納され、固定されていることを確認してください。



Ⅲ.リモコン操作方法

リモコン操作取り扱い注意事項

※ボートの外にいるときはリモコンにて操作をしないでください。

リモコンは防滴仕様ですが、水中には浸さないでください

※付属のストラップを使用して、必要なときにいつでもリモコンを操作できるようにしてください。乾燥した塩、砂、または砂の層が画面に付着している場合は、傷がつかないように、柔らかく湿った布で優しく取り除いてください。

※取り付けられている 3 本の AAA 電池は、バックライトの明るさとタイムアウトが最低設定の場合、最大 100 時間動作します。

※ホーム画面の右上隅に電池状態インジケータがあります。
電池収納部はリモコン本体下側にあり、開閉にはドライバーが必要です。

水上でのバッテリー切れに対応できるように予備電池と電池格納部の開閉のためのドライバーを船内にご用意ください。

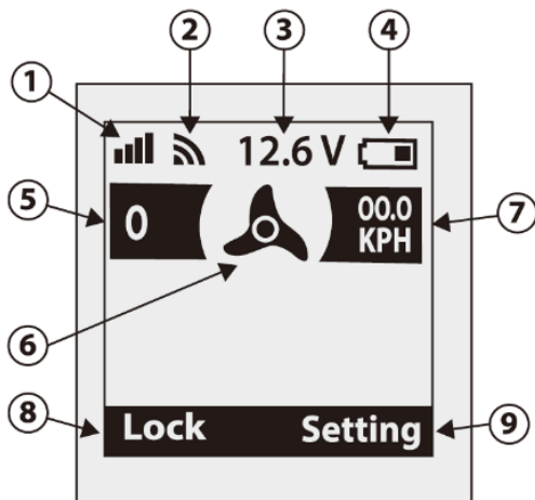
ボタンの説明

- 1 メニュー左
- 2 メニュー上
- 3 メニュー右、電源オン/オフ
- 4 方向修正/コース修正オン/オフ
- 5 メニュー下
- 6 ナビゲーション機能メニュー
- 7 加速
- 8 左旋回
- 9 モーター駆動開始/停止
- 10 右旋回
- 11 減速
- 12 アンカー モード オン/オフ
- 14 録画メニュー



IV. リモコン画面解説

- ①GPS 信号強度
- ②エレキ本体との信号強度
- ③12V バッテリー電圧
- ④リモコンバッテリーレベル
- ⑤モーター速度 0-10
- ⑥プロペラの稼働状況
- ⑦船速
- ⑧左メニュー
- ⑨右メニュー



画面表示の略語

To Start: トラックを記録またはナビゲートする場合、
開始位置はトラックの始まりです。

To End: トラックを記録またはナビゲートする場合、
終了位置はトラックの終わりです。

距離 (DIST): ボートの現在の位置からアンカー ポイントまでの距離、
またはボートの位置とトラック上の最も近いポイント。

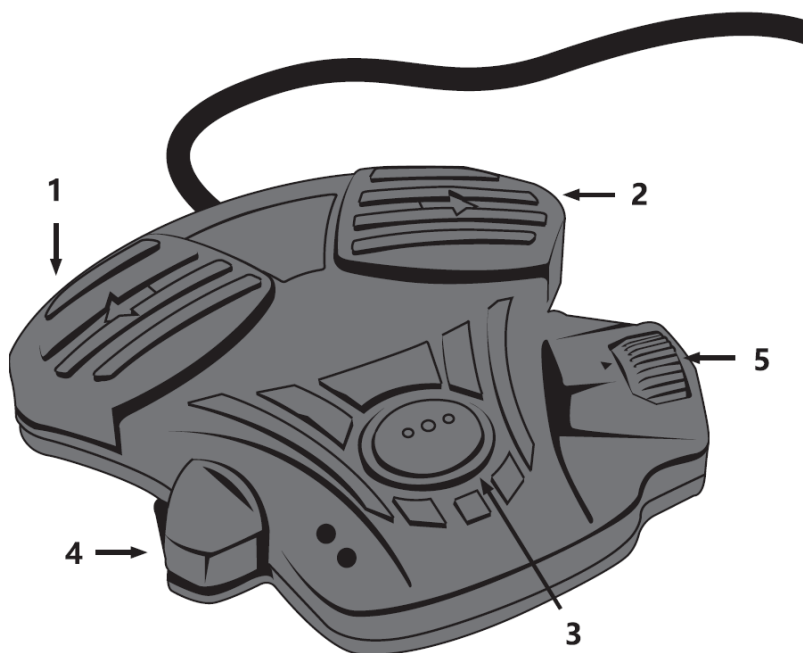
方位 (BRG): ボートの現在の位置から目的地 (スポットまたは
トラックを含む) までの GPS 方向。

方位 (HDG): モーター/ボートが向いている方向または移動している
方向。 残り距離 (DTG) スポットへのナビゲーション
では、目的地に到達するまでに残っている距離。
トラックをナビゲーションする場合は、トラックの
ナビゲーション方向に応じて、トラックの開始位置
または終了位置に到達するまでの距離。

V. フットペダルコントローラー(P65のみ付属)

1. モーターヘッドを左に向けます。
2. モーターヘッドを右に向けます。
3. モーターのスイッチ
4. コンスタントONの切り替えスイッチ
このスイッチをONにすると3.のボタンを押してなくてもモーターが回り続ける。コンスタントONの場合は緑色LEDが点灯。
コンスタントOFFの場合は赤色LEDが点灯する。
5. 速度調整ダイヤル

注: フットコントローラーを初めて接続した後は、電源出力ノブをデバッグしてから、フットコントローラー ケーブルを再度差し込み、取り外してフットコントローラーをアクティブにしてください。



VI-1.初回電源スイッチON時の確認事項と作業手順(P60/P65の場合)

1.確認事項

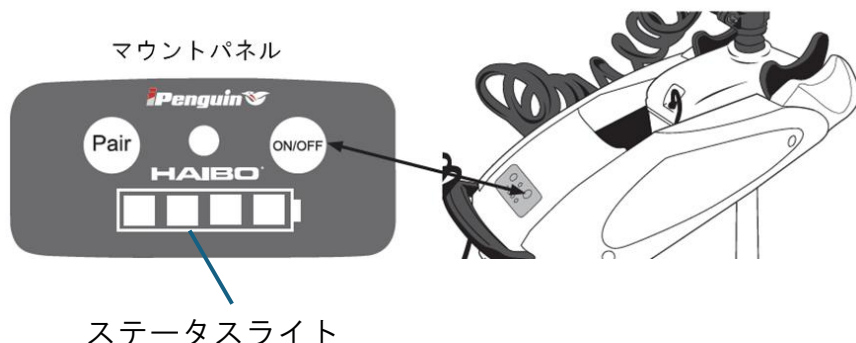
- ・ HAIBO IPENGUIN GPS を12 ボルトのマリンディーブサイクルバッテリーに接続します。
- ・ モーターを展開し、ロックレバーが上位置にあることを確認します。

注: HAIBO モーターには傾斜スイッチが装備されており、モーターが垂直位置でない限りモーターが作動しません。



2-1.ユニット本体の電源を入れる(P60,P65の場合)

- ①モーターが垂直位置にある状態であることを確認。
- ②マウントパネルの右側のボタン（オン/オフ）を、すべてのステータスライトが点灯するまで押し続けます。
- ③ステータスライト(4つのLED)はバッテリーの残りの充電量に応じて点灯します。



VI.初回電源スイッチON時の確認事項と作業手順 続き

- ・マウントパネルのステータスライト(LEDライト)は HAIBO GPS の重要な状態を示します。
 - ・ユニットの電源がオンになると、ユニットが GPS 信号を探している間、マウントパネルのLEDライトが黄色に点灯します。
 - ・ユニットが GPS 接続を確立すると(通常は数秒以内)、ステータスライトが緑色に点滅し、その後緑色に点灯します。この時点では、ユニットはオプションのフットペダル(ケーブルが接続されているとき)のみで操作できます。
3. リモコンの電源を入れて、ユニット本体とペアリングする。
赤色のキーを2秒間長押し、放すと画面が点灯します。
ユニット本体はペアリング信号で応答します。
ステータスライトは緑色で点灯します。



VI-2.初回電源スイッチON時の確認事項と作業手順 (P60/P65以外の場合)

1. リモコンの電源を入れる。

右図参考に赤いボタンを押すとリモコンに電源が入ります。

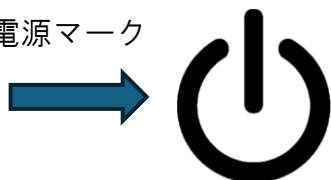


2. 本体の電源を入れる。

本体マウント部分の電源マークとリモコン背面の◎をくっつけるとビープ音が鳴り、本体のスイッチが入ります。

本体に物理スイッチありません。

電源マーク



3. リモコンと本体をペアリングする。

リモコン、本体がともに電源が入った状態で、リモコン背面の◎と本体のPAIRのマークをくっつけると、ビープ音がなり、リモコンと本体がペアリングされます。

4. リモコンのキャリブレーション

リモコンはステアリング確立するために、グレーのLeftキーとrightキーのキャリブレーションをするように表示が出ることがあります。

所要時間は 10 秒程度です。



メインメニューをアクティブにするには、赤いキーを押します。隣接する青い上下キーを使用して、セットアップメニューをスクロールします。



① ボートの設定

青い矢印の下矢印キーを使用して、ボートのサイズまでスクロールし、ボートの詳細を設定します。これにより、HAIBO GPS が常に適切なパワーを選択できるようになります。

選択肢は以下となります。

- ・ 3 m 未満の小型ボート
- ・ 中型ボート = 3 m - 4 m
- ・ 大型ボート = 4 m 以上



赤いキーでボートのサイズを選択し、ロックし、左の青いキーで設定メニューに戻ります。

② 単位の設定

単位までスクロールしてメートル法かヤードポンド法をチェックし、赤いキーを押して確定します。デフォルトはメートル法です。左の青いキーを押してメインメニューに戻り、スクロールを続けます。

③明るさの調整と自動バックライトオフ

バックライト メニューで、赤い確定キーを使用してタイムアウトと明るさを調整します。リモート スクリーンの点灯時間が長く明るいほど、リモートのバッテリー寿命は短くなります。日が明るいほど、ディスプレイは明るくなります。夜間視力を維持するには、バックライトを暗くします。

バックライト メニューで、自動オフを調整して 15 分から 120 分を選択します。自動オフは、リモートが規定の時間アイドル状態になると機能します。

VII.各モード解説

1.マニュアルモード -

右はマニュアルモード時の画面表示



このモードでは、リモート機能表示エリアは空白です。

マウント部のステータスライトは緑色です。

リモコンかオプションのフットペダルで操作できます。

Lock Setting

オプションのフットペダルは、一定または瞬間的に切り替えることができます。

マニュアルモード時はリモコンの右図で操作をします。

左右ボタンはプロペラ向き

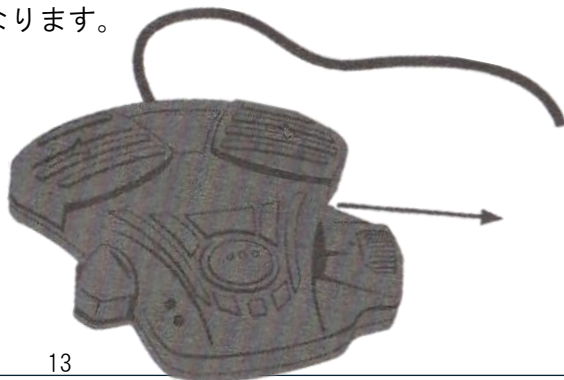
上下ボタンは速度

中央のプロペラマークはモーターの回転のON/OFF



詳細：

- マニュアルモードの起動時はゼロパワーでプロペラは停止しています。
- 上下矢印は、ゼロからレベル 10 の間で徐々にパワーを増減します。
パワーを増すごとに、ベース ユニットのパネルから短い通知音が鳴ります。
- リモートとペダルの L および R ターン キーは、押している間、最大 7 秒間動作します。さらに回転させるには、もう一度押して押し続けます
- 中央のプロペラトグルボタンは、プロペラへのパワーを供給/停止し、停止/開始時に音を発します。
- スムーズな操作のために、常に徐々にパワーを供給してください。
- オプションのフットペダルコントロールは、手動モードと連動して動作し、ステータスライトは緑色になります。



2. アンカーモード

- ① アンカーモード(キー13) を押すと、すぐにアンカーモードに入り、キー押した瞬間のGPS 位置を基準にボートを所定の位置にロックします。

良好な条件下では 公称精度 2m です。

アンカーモード時のマウントのステータスライトは青となります。

アンカーモードボタン



機能画面には、現在のアンカーポイントからの距離、GPS 方位が表示されます。



メニュー画面

Exit: アンカーモードを終了します。

Save: 現在のアンカーポイントを保存します。

終了するには、アンカー モードキーをも う一度押します。

② アンカースポットの保存方法

現在のアンカースポットをメモリに保存するには、メニュー画面表示に [Save] が表示されていることを確認し、キー 3 を押します。最大 16 個のスポットを保存できます。

HAIBO GPS は最大 16 個のスポットを保存し、1km 以内であればいつでもそれらのスポットに戻ることができます。詳細については、「リモート手順」セクションを参照してください。

(注意！)

船舶の停泊の唯一の手段としてアンカーモードに依存しないでください。アンカーモードは、明るい状況での短期間の位置保持用であり、大きな流れ、風、天候、または潮流の中で 船舶の位置を維持するために依存するものではありません。

アンカー モードの船舶は、海上衝突防止国際規則 (Colregs) によって「航行中」とみなされ、適切な照明を表示し、適切な衝突回避を実践する必要があります。混雑しているチャンネルや配送ではアンカーモードを使用しないでください

③アンカーモードの終了

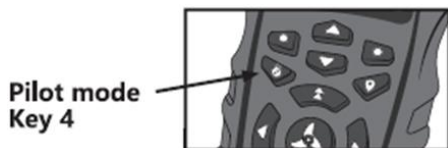
アンカーモードを終了してマニュアルモードに戻るには、
アンカー キー 13 をもう一度押します。

終了警告音が鳴り、マウントのステータス ライトが緑色に点灯
します。

アンカーモードからマニュアルモードに変更した際の
モーターのパワー出力は、アンカーモードで使用された最後の
パワーレベルになります。

3.パイロットモード

パイロットモードでは以下3つのモードの調整が可能です。
パイロットモードに切り替えるにはリモコンのコンパスマークを押します。



パイロットモードを終了するには、パイロットモードキーをもう一度押します。

赤いキーの下の設定セクションの [Fix] メニューで選択して、ヘディングモードとコースモードを選択できます。

以下③クルーズコントロールと①もしくは②は同時設定可能です。

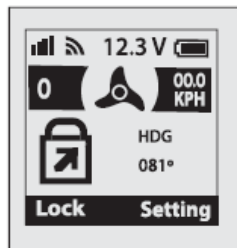
- ①ヘディングモード：プロペラの向き(モーターの向き)の固定
- ②コースモード：指定した方位へボートが向くようにプロペラの向きを自動調整し続けます。
- ③クルーズコントロール：指定された対地速度になるようにモーター出力を自動調整し続けます。

以下各モードの詳細です。

- ①ヘディングモード：プロペラの向き(モーターの向き)固定モード

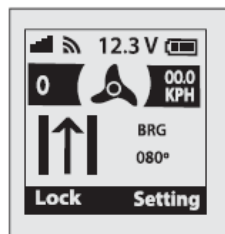
ヘディングモード時のリモコン表示は右図となります。

モーターの向き調整はリモコンの左右矢印キーかフットコンの左右で調整できます。



- ②コースモード：指定した方位へボートが向くようにプロペラの向きを自動調整し続けます。

コースモード時のリモコン表示は右図となります。
向かう方角の調整はリモコンの左右矢印キーかフットコンの左右で調整できます。



③クルーズコントロール：指定された対地(対海底)速度になるようにモーター出力を自動調整し続けます。

クルーズコントロール時のリモコン表示は右図となります。

速度調整はリモコンのグレー矢印の上下で行います。

キーを1回押すごとに、対地速度が0.2kmhずつ増減します。



(ポイント)対地(対海底)速度

リモコンに表示される速度は、海底速度または「地上速度」を示しており、ボートが水中を移動する実際の速度を反映するものではありません。水速は、風、潮流、流れ、波の動き、およびその他の多くの変数によって影響を受けます。

水流に対する相対速度ではなく、対地面(海底)を基準とした速度表示です。

※クルーズコントロール時に方向を変更する場合

赤いキー 3の設定セクションを選択し、メニューを修正して、方向やコースを選択します。

注:

プロペラが回転していないときは、クルーズ機能を開始できません。

4.トラックレコーディング

パイロットモードのときにトラックを記録できます。

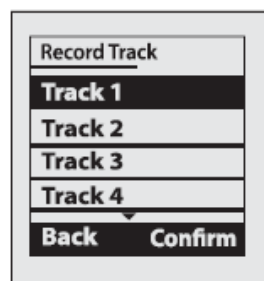
アンカーモードの時は記録できません。

最大5kmの長さのトラックを16個記録できます。

トラックを記録するには、リモコンキー14を押します。



右図の表示となるので、登録したいトラック番号を選択して確定します。



機能表示: 記録記号の下に距離が記録されます。

メニュー表示: ルート記録を中止するには終了を選択します。

現在記録されているルートを保存するには終了を選択します。

リモコンは、保存したトラックに1～16の番号を割り当てるように求めています。

既存のトラックを削除するには、その番号に新しい保存トラックを割り当てます。つまり、削除するには上書きします。

トラックは記録されますが、速度は保存されません。

トラックレコーディング中のマウントのステータスライトは青です。

5. ナビゲートモード

【重要】

ナビゲートモードに入るとき、または再開するときには、浅瀬、障害物、岩などの危険物が、船舶と航行先のスポットまたはトラックの間に直接通る経路にないことを確認してください。

船舶とスポットまたはトラックの間に高い建物に囲まれた橋や水路がある場合、HAIBO IPENGUIN GPSは衛星信号を失い、ナビゲートされたコースを進まなくなる可能性があります。

ナビゲートモードでは、常に安全な速度を維持し、適切な監視を行ってください。

ナビゲートモードでは、ユーザーは保存されたトラックを 5 km まで正確にたどることができます。

これはトロリングをする人にとって特に便利です。

①ナビゲートモードの開始

ナビゲートモード(キー 6)を選択すると、1 km以内の保存されたスポットまたはトラックに戻ることができます。

保存されたスポットに戻るには、キー 6を押してナビゲートモードに入り、メニューキーを使用して保存されたスポット番号(1 km 以内)を選択し、確認(Confirm)を押します。

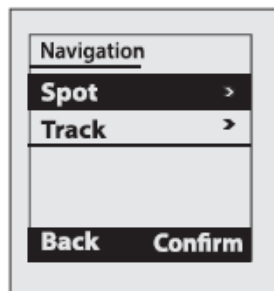
速度を選択し、電源を入れると、HAIBO IPENGUIN GPS がそのスポットに戻ります。到着すると、アンカーモードになります。機能画面にスポット番号、距離、方位が表示されます。メニュー画面には、戻る、確認が表示されます。

(メモ)

保存されたトラックを開始するには、キー 6を押してナビゲートモードに入ります。次に、メニューキーを使用してトラック番号を選択し、確認を押し、選択したトラックのどの方向に進むか(開始/終了)を選択すると、HAIBO IPENGUIN GPS がそのトラックの開始/終了に戻ります。トラックの終了に到達すると、モーターはアンカーモードに入ります。設定メニューで他の終了モードを選択することもできます。

機能画面には、次の表示があります。スポット番号、距離、方位
メニュー画面の表示: 戻る、確認

注: HAIBO IPENGUIN GPS がクルーズモードのときに、トラックまたはスポットまでナビゲートできます



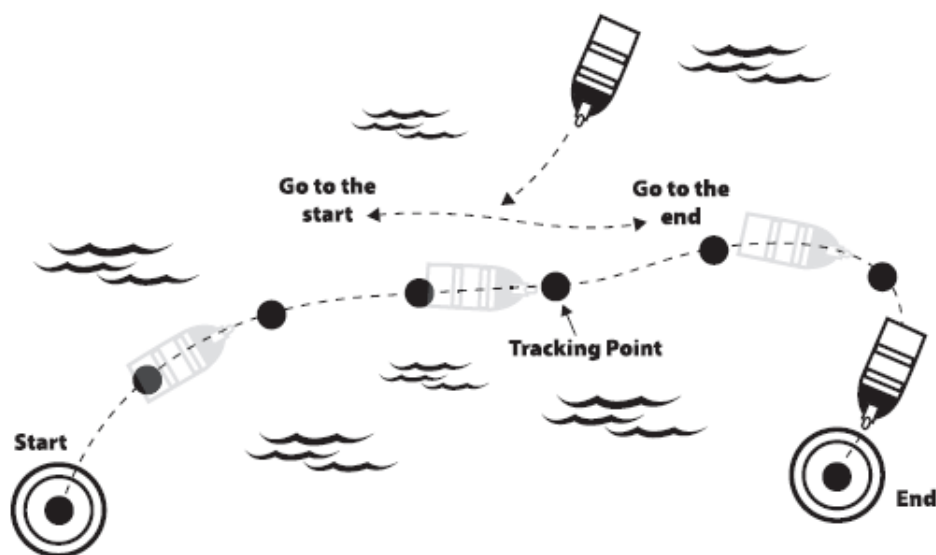
ナビゲート モード (続き)

HAIBO IPENGUIN GPS は、トラックスタートを逆にすることで、記録されたトラックをどちらかの端からたどります。リモートスクリーンの機能領域には、残りのトラックの長さが表示されます。保存可能な 16 のトラックはそれぞれ最大 5 km の長さです。

注: パワーの適用を停止することで、選択したトラックの進行をいつでも停止できます。ナビゲートキーをもう一度押してナビゲートモードを終了し、手動モードまたはアンカーモードに入ること、選択したトラックから離れることができます。

トラックに再び参加するには、ナビゲート キーをもう一度押し、トラック番号を選択して確定し、パワーを適用すると、HAIBO IPENGUIN GPS がトラックの最も近いポイントに戻り、ナビゲーションを再開します。

繰り返しますが、再開するトラックと船舶の間に直接の経路に危険がないことを確認してください。常に安全な速度を維持し、適切な監視を行ってください。



VIII. メンテナンス

1. 初回使用後

- ① 取り付けナットとボルトが「馴染む」までに時間がかかることがあります。
確認の上、緩んでいたら増し締めをします。
- ② リモコンがオフになっていることを確認します。
- ③ バッテリーを取り外します。
- ④ ナイロン クイック リリース ブラケットが取り付けられている場合は、
クイック リリース プレートのロック U ワイヤを取り外し、モーター全体を
持ち上げます。
- ⑤ 合金製クイックリリースプレートの場合: ベースマウントアセンブリのサイド
プレートを取り外し、上部プレートをベースマウントアセンブリに固定している
ナットとボルト、下部プレートをボートの前甲板またはガンネルに固定している
ナットとボルトの張力を確認します。必要に応じて締め直します。
- ⑥ 永久マウントの場合: ベース マウント アセンブリのサイドプレートを取り外し、
ベース マウントをボートのフロントデッキに固定しているナットとボルトの
締め具合を確認します。必要に応じて締め直します。

2. 毎回の使用後

- ① リモコンがオフになっていることを確認します。
- ② バッテリーを取り外します。
- ③ バッテリーを充電します。
- ④ 淡水を使用した後でも、HAIBO モーターを淡水で軽くすすいでください。
塩分、汚れ、海藻の破片が詰まりやすい場所、つまりプロペラ、モーター
ハウジング、複合シャフト、ターン ボックス、デプス カラー、デッキマウント
アセンブリの露出部分を中心にすすいでください。
- ⑤ これらの部分を温かい石鹸水に浸した布で拭いて乾かしてください。
- ⑥ 露出部分の保護と潤滑のために、シリコン、石油系、またはラノリンプレーを
軽く塗布してください。柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ⑦ HAIBO モーターはバッテリーから取り外した状態で保管してください。
- ⑧ リモコンを柔らかい湿った布で軽く拭き、特に画面とキーパッドに注意して
ください。乾かして、次回のために覚えておく場所に保管してください。
- ⑨ フット ペダルを柔らかい湿った布で軽く拭いてください。
- ⑩ ボートを屋外に保管する場合は、本体を取り外して、涼しく乾燥した屋内の
安全な場所に保管してください。HAIBO を屋外のボートに恒久的に取り付ける
場合は、防水シートなどのカバーで強い日光や風雨から保護することを検討

IX.トラブルシューティング

1.モーターが稼働しない場合

- ①HAIBO モーターへの電源供給が途絶えると、多くの問題が発生する可能性があります。モーターに障害があると判断する前に、12V ディープ サイクル バッテリー、配線、セットアップの状況を慎重に確認してください。
- ② HAIBO モーターには傾斜スイッチが取り付けられており、モーターが展開（垂直）位置でない限り、モーターが動作しません。
- ③バッテリー接続が逆になっていないか確認してください（極性が逆）
- ④12Vディープサイクルバッテリーが完全に充電されているか確認してください。
- ⑤端子 / 接続がしっかりしていて緩んでいないか確認してください
- ⑥端子/接続に損傷、腐食、またはゴミの蓄積の兆候がないか確認してください
- ⑦バッテリーケーブルを延長している場合は、正しい容量のケーブルを使用していることを確認してください
- ⑧プロペラを取り外し、釣り糸 / 雑草、またはその他のゴミが蓄積していないか確認してください
- ⑨プロペラ ピン（せん断ピン）が所定の位置にあることを確認してください

2.異音がする場合

アーマチュアまたは磁石が割れているか外れている場合 - モーターから軋むような音がします（修理業者に連絡してください）

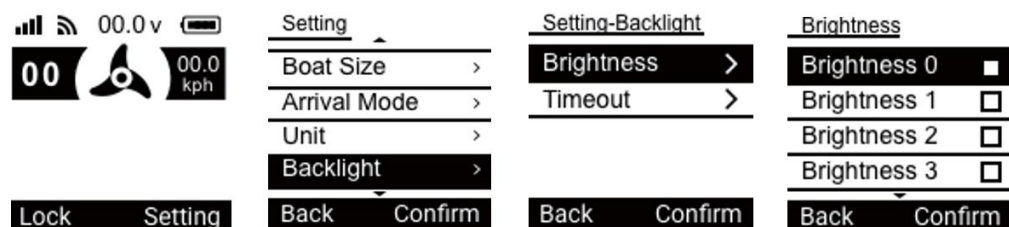
3.モーターからノイズまたは振動が聞こえます

プロペラがしっかりと締められ、せん断ピンが所定の位置にあることを確認してください プロペラを取り外し、釣り糸 / 雑草、またはその他のゴミが蓄積していないか確認してください

・バックライト

バックライトの明るさを設定します。

- リモコンの「メニューアップ」キーと「メニューダウン」キーを押すと、画面下部のメニューバーが切り替わり、左側にロック画面、右側に設定メニューバーが表示されます。
- 「メニュー右選択」キーを押して設定ページに入ります。
- 「メニューアップ」ボタンと「メニューダウン」ボタンでバックライトメニューを開き、「メニュー右選択」ボタンを押して「バックライト」を選択すると、設定 - バックライトページに入ります。
- 「メニューアップ」ボタンと「メニューダウン」ボタンで「明るさ」を選択すると、明るさ設定ページに入ります。
- 「メニューアップ」ボタンと「メニューダウン」ボタンで明るさを選択し、「メニュー右選択」ボタンを押します。

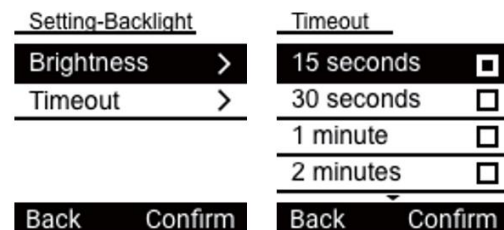


・バックライト時間の設定

バックライト設定ページに入ります。

「メニューアップ」と「メニューダウン」を押して「バックライト時間」を選択し、バックライト時間設定ページに入ります。

「メニューアップ」と「メニューダウン」を押してバックライトの点灯時間を選択し、「メニューライト」を押して設定を保存します。



自動シャットダウン

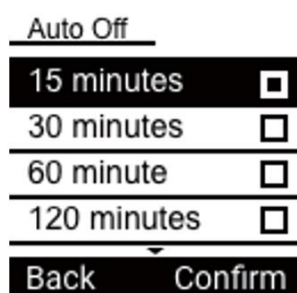
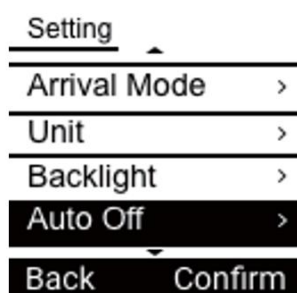
リモコンの自動シャットダウン時間を設定します

ホーム画面でリモコンの「メニューアップ」キーと「メニューダウン」キーを押すと、画面下部のメニューバーが切り替わり、左側にロック画面、右側に設定メニューバーが表示されます。「メニュー右選択」キーを押して設定ページに入ります。

「メニューアップ」ボタンと「メニューダウン」ボタンで自動シャットダウンメニューに移動し、「メニュー右選択」ボタンを押して「自動シャットダウン」を選択すると、設定 - 自動シャットダウンページに入ります。

「メニューアップ」ボタンと「メニューダウン」ボタンで、リモコンが操作されていないときの自動シャットダウン時間を選択し、「メニュー右選択」ボタンを押して設定を保存します。

注: 自動シャットダウンは、船舶制御システムが接続されていない場合にのみ実行されます。



<BEE・HAIBO1年保証>

取扱説明書に従った正常な使用において故障が発生した場合、購入時に付属する製品保証書に販売店によって記入されたお買い上げ年月日から1年間、1回限りで一箇所のみの対応いたします。弊社が販売したハイボ製品以外はパーツ供給、修理等は受け付けません。また生産中止となり、パーツ供給が困難な製品の修理はできない場合がございます。免責修理をご依頼頂く場合は、当該保証書の他、購入時の日付が記載された領収書等が必要となりますので一緒に大切に保管ください。

・修理以外に要する費用について(保証期間内外関わらず)

船体からの取り外し、取り付け費用や梱包費、送料(往復とも)等についてはお客様のご負担となります。

梱包用の段ボールがない場合は、着払いとなりますが、梱包用の箱を送付できます。運送会社は、当社指定(福山通運、新潟運輸)をご利用いただければ契約運賃適用となります。以下の運送業者支店へ持ち込み、送料着払いで以下サービスセンターへ発送してください。修理完了後に往路分の送料を加算して請求いたします。弊社銀行口座へ着金確認後に発送します。

当社指定運送業者が最寄りにない場合はお客様ご自宅等から元払いにてご発送ください。

発送先

HAIBO(ハイボ)日本サービスセンター(持込可・要事前連絡)

〒311-2424 茨城県潮来市潮来1240 ハイボエレクトロニクスサービスセンター

Tel 0299-94-7207

当社指定運送業者: 西濃運輸

・免責事項

保証期間内におきましても、以下事項に該当する場合はお客様全額負担の修理となります。

- ①説明書から逸脱した正常なご使用以外の誤ったご使用による故障及び破損
- ②保管やお手入れの不備による故障及び破損。(例: 使用に伴う異物がプロペラに絡まって故障した場合や使用後のお手入れが不十分であった場合等)
- ③事故、及び過失による故障及び破損。(例: 運搬中の落下、走行中に障害物等に衝突した場合、基盤部を水没させた場合等)
- ④塩害及び天災等による故障及び破損。
- ⑤当社及び当社認定のサービスセンター以外で改造、分解または修理の行なわれた場合。
- ⑥貸しポート・観光用ポートまたは釣り以外の用途で使用された場合。
- ⑦一般的に機能上影響のない腐食、錆及び感覚的現象 (例: 音、ガタ、振動 等)
- ⑧シャフト部分の曲がり、アーマチュアシャフトの曲がりは免責(保証対象外)
- ⑨初期不良はお客様のお手元に到着後、7日以内のお申し出いただいた場合は以下の免責金額は不適用となります。初期不良に該当する故障かは現品確認後に判断させて頂きます。

【免責金額】

ハンドコンモデル ¥4,400/フットコンモデル ¥7,700/GPS搭載モデル ¥11,000

・全国販売店にてご購入された場合

修理をご依頼の際は事前にお買い求めになりました販売店までお問合せ下さい。そのうえで販売店より弊社サービスセンターまで現品を元払いにてご送付下さい。またその際に必要事項が全て記入された当該保証書を必ず同封して下さい。

現品確認の上で、正常なご使用状態においての故障と判断された場合、免責修理をさせて頂きます。

・修理納期目安パーツが無い場合は、約2週間で到着後に修理、交換対応のため、合計30日ほど要します。

＜BEE・HAIBO製品1年保証 保証書＞

お客様名	
フリガナ	
住所	〒(-)
連絡先	
ご購入年月日	
ご購入製品	(HAIBO P90等)
ご購入店舗名	
トラブル内容 (電源を繋ぎ、スイッチを入れても動かない等)	
トラブル原因と思われる状況 (最大パワーで連続20分以上航行した等)	

ご購入日が明記された領収書等がない場合、保証が出来かねる場合がございます。
 ※通販の場合はメール等で代用可。



MKT 株式会社
茨城県稲敷市高田565-5
TEL 080-5035-9898
beeboat2003@gmail.com

<https://beeboat2003.com>



Bee boat 公式HP